

楽しく美しい  
まちづくり通信 84

# 訪ねてみたい宝の情景

～5月～

やわらかな春風とともに、こここの木々が緑の芽を吹き出してきました。  
チラチラとまばゆいまでに光り輝くカツラの若葉、真っ白なユキヤナギのつぼみ、日を追って色を変え、芽が大きく膨らんでいくさまは、変化の味わいがあり、季節の歩みを感じられて楽しいものです。  
これから初夏にかけて、市内の野山はキタコブシの白い色から始まり、ウメやサクラ、そして、ヤマブキ、ツツジなどが咲き乱れます。



春を告げる狐森のキタコブシ (仁左平)

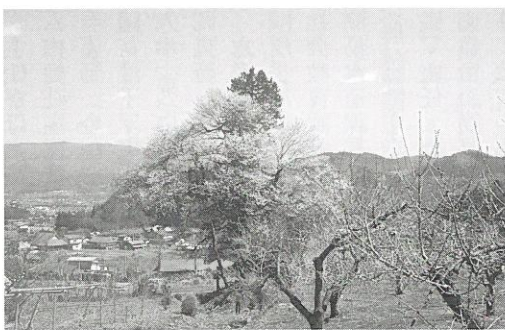
このような花々の中に囲まれて暮らし、共に見る二戸市の情景には、季節ごとの趣があります。

今年には十数年ぶりという大雪にもかかわらず、早春から温暖な天候が続き、花の開花も早くなりました。

例年であればゴールデンウイークに見ごろを迎えるソメイヨシノも、この広報がお手元に届くころにはすでに散り、次に咲く花々に華やかさを託していきます。

## 春の里山

石切所地区は今、新幹線を迎えるつち音が響いています、馬仙峡展望台に向かう途中、奥山のリンゴ畑の中に一本の大きなエドヒガンが立っています。  
遠くに望む折爪岳を背景に、茂谷山と白い岩肌の大崩崖に挟まれるように立つ情景は春の里山そのものであり、白いリン



奥山のエドヒガン (石切所)

ゴの花とエドヒガンの淡紅色が織りなすコントラストは、見る者を幽玄の境地に誘います。  
ぜひ一度ご覧いただきたいと思えます。

## 折爪岳

「春は折爪 山から明けて」と二戸小唄にも登場する折爪岳は、市内の多くの学校の校歌にもうたわれる、市民の心のよりどころです。

夏にはヒメボタルが飛び交い、小さな生き物たちがつくり出す光のページェントを見るのができますが、この季節、ようやく咲き始めた野花の傍らでは、眼下にかすみにけむる二戸市の街並みを望むことができます。



折爪岳から市内を望む

## 旬の情報をお知らせ

― 宝の歳時記 ―

二戸市シビックセンター一階の地域情報センターでは、旬の宝の映像が検索できます。

一面、白い花で埋め尽くされた舌崎のリンゴ畑や、淡紅色に彩られた市天然記念物のエドヒガンなど、普段見ることのできない映像満載。

どうぞ、ご覧ください。

遠く八甲田連峰や八幡平に続く山々に抱かれ、小さく見える自分たちの町をいとおしく感じる瞬間です。